

令和5年度事業報告

放課後等デイサービスえがお

基本方針に対する 達成状況	児童が放課後、休日を安心して過ごす居場所づくりのために、児童一人一人の理解を深めることができた。特に毎月行われるケア会議で各児童の情報共有をしっかりと行うことを大切にした。職員が多業種で構成されているのでそれぞれの専門知識を交換し支援に活かした。
重点項目に対する 達成状況	利用児童の体調管理を医療職を中心に行い緊急時における対応訓練を日頃より行い、関係機関、本人、保護者、関係機関、各職員の専門的知識を基にモニタリング、ケア会議を行い個別指導計画を立て、その計画に基づき支援を行った。職員の育成については研修、委員会発足を通し各専門職の知識を深めた。感染症対策については感染症マニュアル、BCPの作成、嘱託医から助言を受けて実践出来た。
稼働目標に対する 達成状況	稼働目標の1210人/年に対して921人/年の利用者だったため稼働率目標に至らなかったが、前年度より延べ利用人数は100人ほど増えた。達成率は4月93%、5月92%、6月84%、7月101%、8月105%、9月88%、10月84%、11月89%、12月96%、1月86%、2月77%、3月78%となっており学校長期休業日は達成率も高い傾向となる。
予算執行状況	収入は、稼働率の低下に加え、加算等が取れていない、過年度の修正等の要因が重なり、当初予算の66.4%となった。対して、人件費が大半を占める支出は、ほぼ予算通りとなり、結果として事業活動収支差額で800万円の赤字となった。
事業およびサービス目標に対する達成状況	通所児童を安全に送迎、利用者児童各自に合わせた個別支援計画を立てその計画に基づき支援を行うことができた。保護者と信頼関係を築き適切な支援、サービスを提供することができた。利用児童が心地よく過ごせるよう環境を整え過ごしていただけた。児童が好きな手作り玩具等を配置した。その玩具で他児童も遊ぶ事で自然に他児童と交流することができた。主な行事としてお花見、ドライブ、クリスマス会、節分遊び等を行った。また、その季節に合わせた制作活動や秋には品川区障害者作品展に出展した。一人ひとりの児童ができる事を分担し作品を完成させた。児童全員での共同作品は初めての試みだったので達成感のあるものとなった。
その他事業計画に対する達成状況	

月平均稼働

月	定員	稼働目標	稼働実績	備考欄
4月	5名	85人	79人	
5月	5名	85人	78人	
6月	5名	93人	78人	
7月	5名	85人	86人	
8月	5名	93人	98人	
9月	5名	85人	75人	
10月	5名	89人	75人	
11月	5名	85人	76人	
12月	5名	81人	78人	
1月	5名	81人	70人	
2月	5名	81人	62人	
3月	5名	85人	66人	

利用者別の内訳

月	城南特別支援学校	品川特別支援学校	久我山青光学園		合計
4月	32	45	5		82
5月	36	41	1		78
6月	41	39	3		83
7月	46	38	2		86
8月	50	43	5		98
9月	40	31	4		75
10月	27	47	1		75
11月	39	35	2		76
12月	38	37	3		78
1月	36	33	1		70
2月	33	28	1		62
3月	33	31	2		66

年間行事等の報告

4月	お花見、春休み、新児童慣らし預かり
5月	防災訓練、実地監査
6月	制作活動、戸外活動
7月	夏休み、戸外活動
8月	夏休み、戸外活動
9月	慣らし活動
10月	制作活動
11月	品川区障害者作品展出展
12月	防災訓練、冬休み、クリスマス会
1月	冬休み、慣らし活動
2月	制作活動、新規利用児童見学
3月	春休み、新規児童受け入れ準備